

経営比較分析表（平成30年度決算）

千葉県 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	40	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	114,904	非該当	7：1	

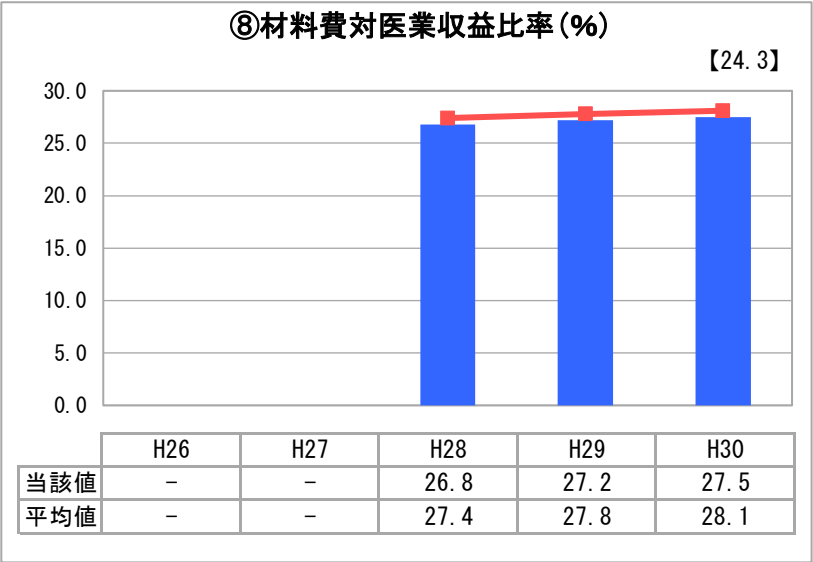
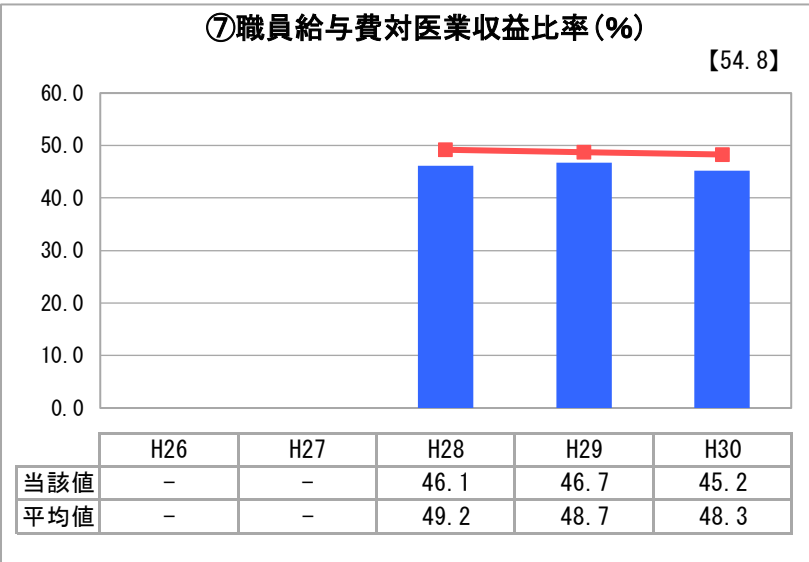
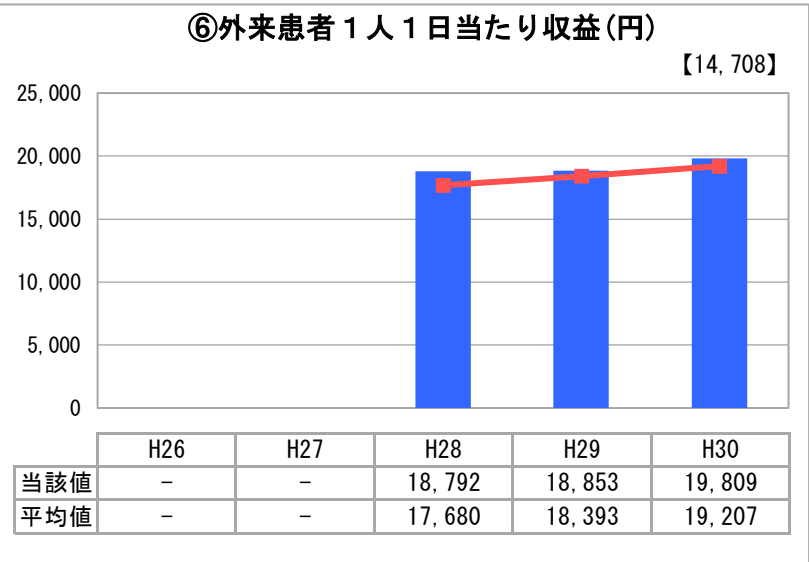
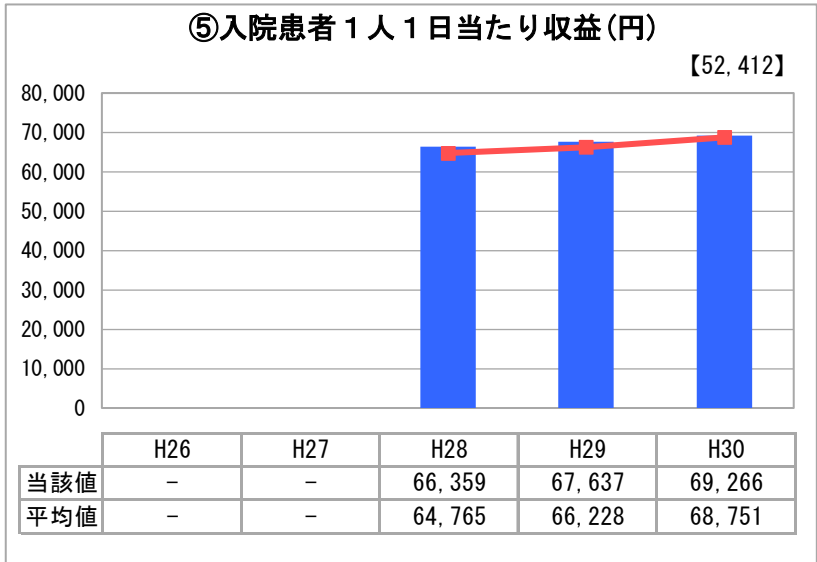
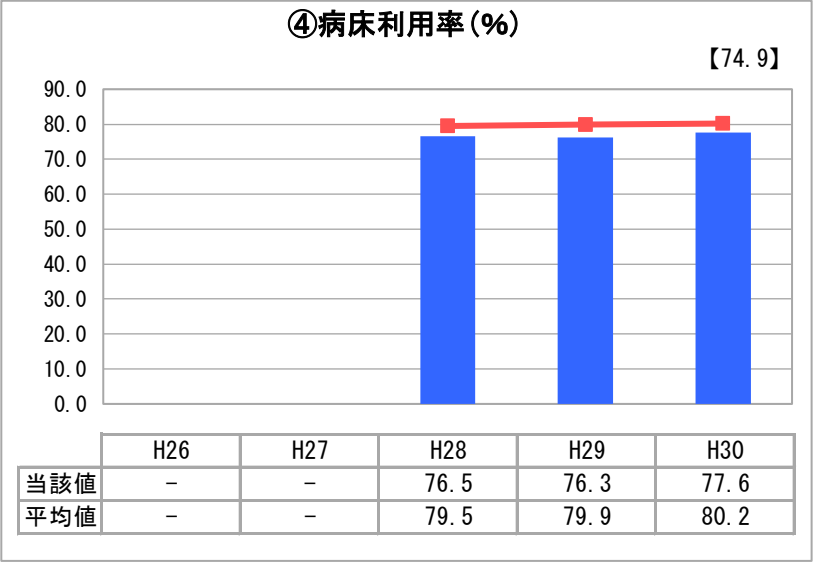
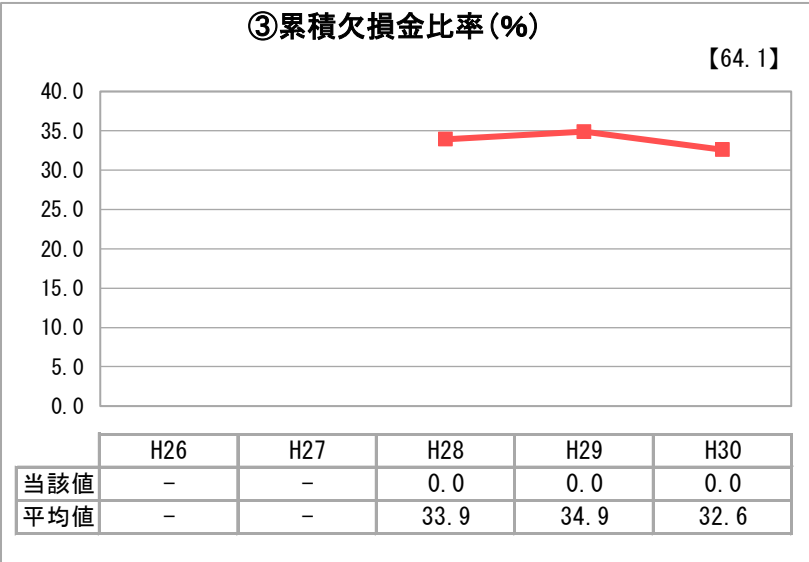
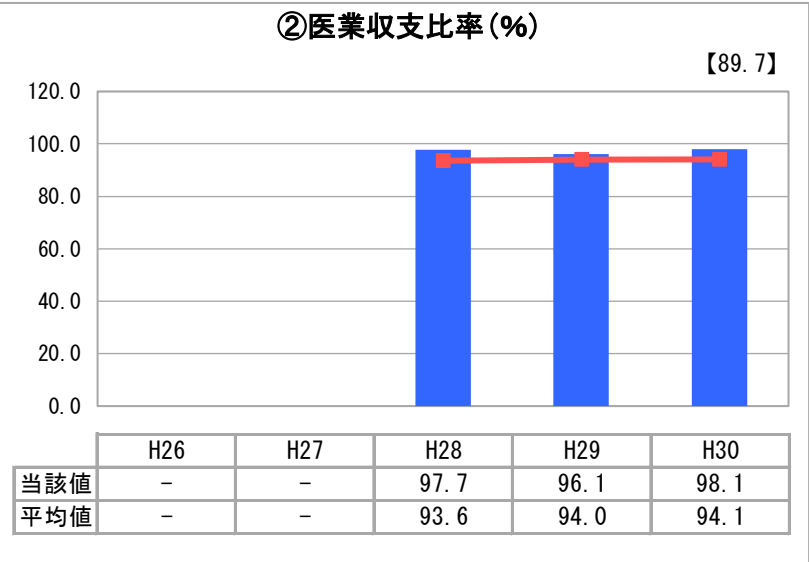
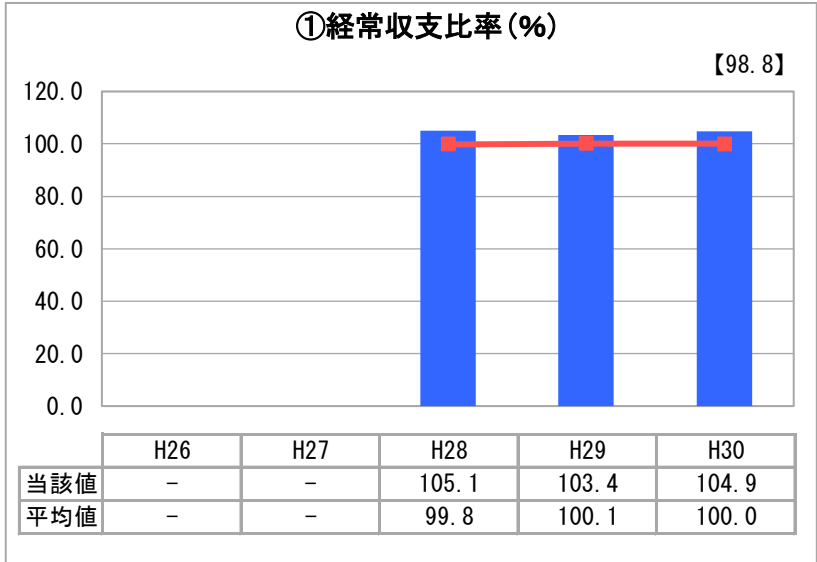
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

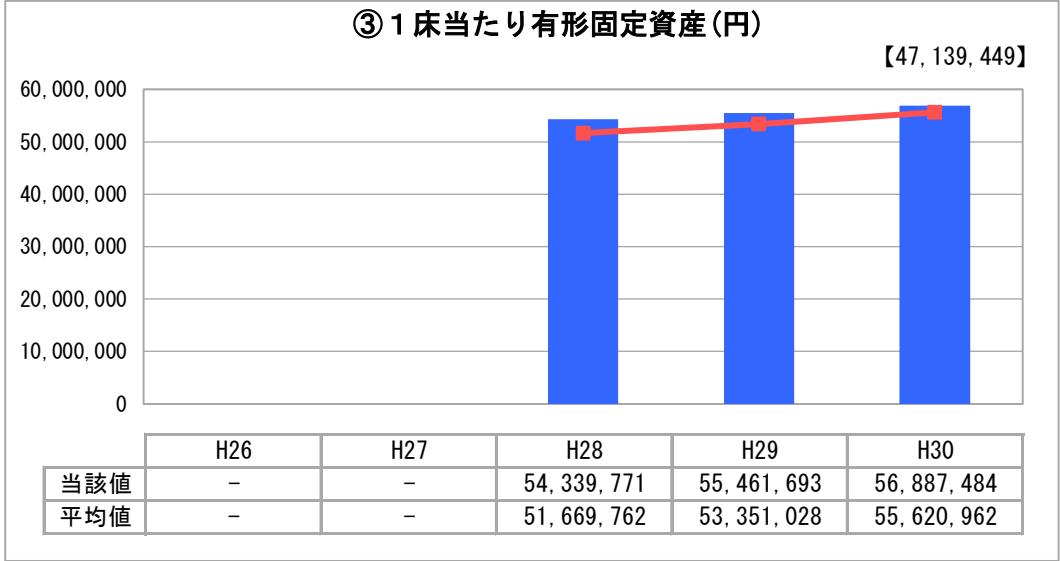
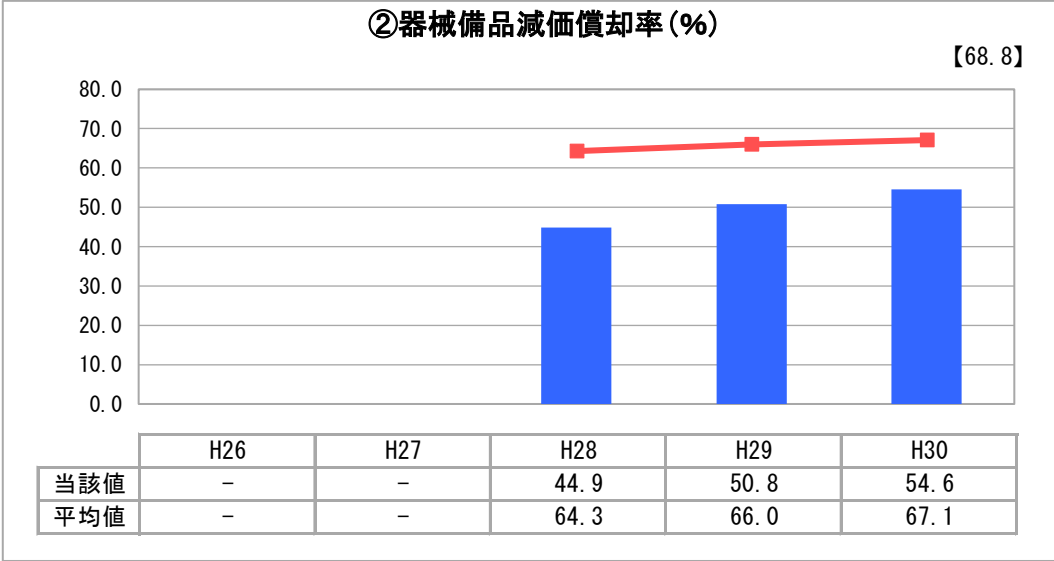
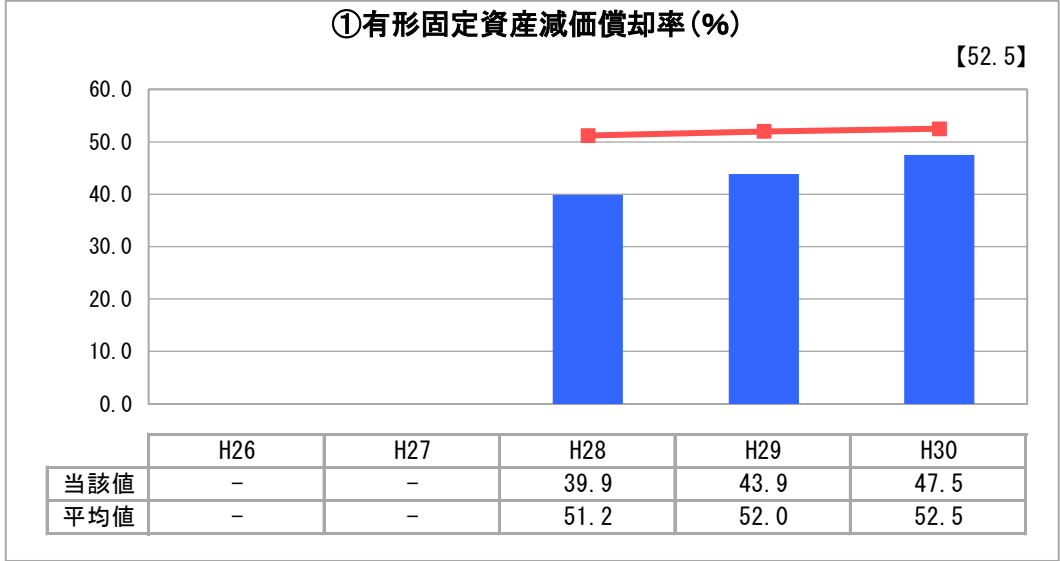
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
763	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
220	6	989
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
769	-	769

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成28 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

千葉県東部及び茨城県南部を含む半径30キロ圏（人口約100万人）を診療圏とする中核的な基幹病院として、高度救急医療の確保と充実に取り組みつつ、救急・小児・周産期・精神など不採算部門に関わる医療を提供し、災害拠点病院としてヘリポート等の必要な設備の維持や災害派遣医療チームの養成等を行っている。また、早期から研修教育病院としての充実に取り組んでいるほか、地域医療支援病院として地域医療従事者の研修の場である地域医療支援センターの開設や検査機器の共同利用等の推進を図り、地域医療の進展にも取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

前年度に引き続き、収益の向上と費用の節減に努め、経常収支比率は平均を上回るとともに、開院からの黒字経営を継続することができた。
医業収支比率は平均を上回っているが100%を若干下回っている。算定式の分子のうち救急医療分と保健衛生行政分の繰入が算定対象であるため、本院でウェイトの大きい精神医療・高度医療・小児医療の分が算定値に反映されていないことに起因するもので、医業活動は健全な状態にある。
病床利用率については、稼働病床ベースでは常時90%を超えている状況であり、職員配置に相応する収入が得られている。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び機械部品減価償却率ともに平均を大きく下回っており、計画的な施設及び機械備品への投資が実施されているものと認識している。また、1床当たり有形固定資産は平均を上回っているが、診療密度の向上等により、平均を上回る収益単価を達成しており、投資に見合った収入が確保できている。
将来的な減価償却費の増加への備えと更なる経営の効率化のために、中期目標・中期計画との整合性、施設の重要度を考慮しながら、施設維持・管理計画に基づき、計画的な修繕による施設の長寿命化と投資の平準化を図り、効率的な施設運営・保守管理に取り組んでいる。

全体総括

前年度に引き続き、医療面・経営面の両面において良好な結果となった。
少子高齢化社会の進展や高騰する社会保障費等を考慮すると、今後、医療を取り巻く環境が大きく変化することが予想されるため、地方独立行政法人のメリットを最大限に活用し、医療の質、経営の質を高めて健全経営の維持に努めるとともに、地域の基幹病院として地域医療者との情報共有と連携の更なる充実に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。